

59校選手団堂々行進

青森県高校総体総合開会式

「笑顔と涙 全力の証がここにある」をスローガンに、第79回青森県高校総体の主会期が5日、幕を開けた。初日は青森市マエダアリーナで総合開会式を行い、59校の選手団579人が堂々と行進した。

式典では、前回まで3大会連続優勝の八学光星男子バスケットボール部など8部を表彰したほか、八戸エウエイトリフティンング部、三農恵拓馬術部には奨励賞を贈呈。

大会ボスターとスローガンの入選者も表彰した。大会長の川浪泰浩県高体連会長は「これまでの練習で培った自分を信じる力と挑戦する勇気を胸に、全力の証を存分に示してほしい」と激励。青森山田女子バドミントン部の徳永結妃主将が選手宣誓した。

競技ではラグビーで八戸西、三農恵拓などが準決勝に駒を進めた。サッカー男子は三本木、向陵、三農恵拓、八学野西などが8強入り。同女子は三本木が初戦を突破した。大会は8日まで。第2日の6日は各地で23競技が行われる。（取材班）

サッカー

場ほか	
【男子】	
▽3回戦	青森市スポーツ広場サッカー
青森山田	5-0 工大
青森東	1-0 八学光星

【女子】	
▽1回戦	三本木 2-1 三沢
青森南	1-0 三農恵拓

ラグビー

（青森市スポーツ広場ラグビー場）	
▽1回戦	
青森山田	49-0 工大・青森工・八戸
八戸西	19-19 八学光星
（抽選勝ち）	
青森北	57-5 八戸工
三農恵拓	58-0 三沢商